

1 国語に関する調査

【特長】

- 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する問題では、多くの生徒がよくできている。楷書と行書を比較し、毛筆で書く指導を計画的に行った成果だと考えられる。
- 物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する問題の正答率が他の問題に比べて高い。

【課題】

- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題が見られる。多くの図やグラフに触れ、読み取りの習熟を図り解釈する学習活動を教科横断的に取り組む必要がある。
- 目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題がある。基本的な要約の仕方について理解するとともに、説明的な文章の要約を繰り返し行い慣れていく必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- 問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算をする問題において、多くの生徒がよくできていた。また、等式を目的に応じて変形する問題ができていた。
- 関数の領域において、問題で提示されているグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題について、よくできていた。

【課題】

- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。事象の特徴を的確に捉え、説明や表現することができるように指導する必要がある。
- 問題解決の課程や結果を振り返り、新たな性質を見出すことに課題がある。学習した内容から発展につながる過程を大切にしていける必要がある。

3 生徒質問紙の結果より

【特長】

- 発表の場面では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していると回答している生徒の割合が高い。様々な教科で行う発表に、物おしせず積極的に取り組むことができていると考える。
- 記述問題において最後まで解答を書こうと努力したと回答している生徒の割合が高く、諦めることなく、粘り強く課題に取り組もうという意欲がうかがえる。

【課題】

- 学校が休みの日に勉強をしていると回答している生徒の割合が低い。勉強していると回答していても、学習時間が短い生徒もいる。家庭学習の充実を図る必要がある。
- 1日当たりスマートフォンなどを使ったゲーム、動画視聴に費やす時間が2時間以上と回答した生徒が多い。家庭と連携しながら、生活習慣の見直しやスマートフォンなどの使い方について考える機会をもつ。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 授業の中で、ICT機器を活用して自分のペースで理解しながら、また楽しみながら学習を進めることができると回答した生徒の割合が高い。引き続き、積極的かつ効果的な活用を進めていく。
- 授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりできるような授業づくりを目指す。さらに、家庭学習の充実にもつなげられるよう支援していく。
- 教育相談をはじめ教育活動の様々な場面で、生徒の自己肯定感や自己有用感を高められるような活動を大切にし、お互いのよさを認め合い、励まし合える人間関係を築いていく。
- 図書館運営を充実させ、読書に親しむ機会を増やすことにより、読書活動をさらに推進していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 学習習慣の重要性を認識し、将来に向けて前向きに学習に取り組めるよう、ご家庭でも見守りをお願いします。
- スマートフォンなどでの、ゲームや動画視聴について、ご家庭でもお子様との対話を大切にししながら、ご家庭内のルールのもと適切に使用できますようご指導をお願いします。
- 地域に貢献できる子どもたちの育成のために、地域の皆様には引き続き、稲作体験学習や職場訪問、ボランティア活動などの受け入れを通して、ご指導をお願いします。